

平成 30 年度

履 修 の 手 引

愛媛大学大学院教育学研究科

平成30年度教育学研究科学年曆

前学期

入 学 式 4月6日(金)
ガイダンス 4月6日(金)
授 業 4月9日(月)～8月6日(金)

後学期

授 業 9月28日(金)～2月16日(土)

授 業 時 間

1時限目 8:30～10:00
2時限目 10:20～11:50
3時限目 12:40～14:10
4時限目 14:30～16:00
5時限目 16:20～17:50
(6時限目 18:00～19:30)

目 次

| | | |
|--------|--------------------------------------|----|
| I | 愛媛大学大学院教育学研究科規則 | 3 |
| II | 愛媛大学大学院教育学研究科学位論文の審査及び最終試験の実施に関する細則 | 8 |
| III | 愛媛大学大学院教育学研究科における長期にわたる教育課程の履修に関する内規 | 14 |
| IV | 愛媛大学大学院教育学研究科授業課程表及び履修案内 | 16 |
| 1 | 特別支援教育専攻・教科教育専攻・学校臨床心理専攻 | |
| (1) | 授業課程表 | |
| 1) | 特別支援教育専攻 | |
| 1) - 1 | 特別支援学校教育専修（聴覚言語障害領域を主とするもの） | 16 |
| 1) - 2 | 特別支援学校教育専修（知的障害領域を主とするもの） | 16 |
| 1) - 3 | 特別支援教育コーディネーター専修 | 17 |
| 2) | 教科教育専攻 | |
| 2) - 1 | 人文社会科学コース | 18 |
| 2) - 2 | 自然科学コース | 20 |
| 2) - 3 | 生活健康科学コース | 22 |
| 2) - 4 | 芸術コース | 23 |
| 3) | 学校臨床心理専攻 | |
| 3) - 1 | 学校臨床学コース | 24 |
| 3) - 2 | 臨床心理学コース | 25 |
| (2) | 履修案内 | |
| 1) | 履修基準（修了要件） | 26 |
| 2) | 修士論文及び学位 | 27 |
| 3) | 履修方法の特例措置 | 27 |
| 4) | 履修手続 | 27 |
| 5) | 履修上の留意事項 | 27 |
| 6) | 学部授業の履修 | 28 |
| 7) | 成績判定（評価） | 28 |
| 8) | 成績通知 | 28 |
| 9) | 教育職員免許状の取得 | 28 |
| 10) | 長期履修学生の教育実習の履修条件 | 29 |
| 11) | 諸手続等 | 29 |
| 2 | 教育実践高度化専攻 | |
| (1) | 授業課程表 | |
| 1) | リーダーシップ開発コース | 30 |
| 2) | 教育実践開発コース | 31 |
| (2) | 履修案内 | |
| 1) | 履修基準（修了要件） | 32 |
| 2) | 実践研究報告書（課題研究）及び学位 | 32 |
| 3) | 履修方法の特例措置 | 32 |
| 4) | 履修手続 | 32 |
| 5) | 履修上の留意事項 | 33 |
| 6) | 学部授業の履修 | 33 |
| 7) | 成績判定（評価） | 33 |
| 8) | 成績通知 | 34 |
| 9) | 教育職員免許状の取得 | 34 |
| 10) | 諸手続等 | 34 |
| 附 | 教育職員免許法（抜粋） | |
| 附 | 教育学部建物案内図 | |
| 附 | 附属教育実践総合センター平面図 | |

I 愛媛大学大学院教育学研究科規則

(平成16年4月1日)
規則第211号)

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人愛媛大学基本規則（以下「基本規則」という。）第27条第3項の規定に基づき、愛媛大学大学院教育学研究科（以下「研究科」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 研究科は、学校教育法、愛媛大学大学院学則（以下「学則」という。）及び愛媛大学憲章を踏まえ、学校教育と社会教育に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、高度な実践的能力を有する学校教育教員の養成を行なうとともに、現職教員の深い学識及び卓越した能力を培い、成長過程に即した研修・研鑽を支援し、学校教育及び広く社会の教育・文化の発展に貢献することを目的とする。

(専攻及び専修)

第3条 研究科に、次の専攻及び専修等を置く。

- | | |
|-----------|--|
| 特別支援教育専攻 | 特別支援学校教育専修 特別支援教育コーディネーター専修 |
| 教科教育専攻 | 人文社会科学コース 自然科学コース 生活健康科学コース 芸術コース |
| 学校臨床心理専攻 | 学校臨床学コース 臨床心理学コース |
| 教育実践高度化専攻 | リーダーシップ開発コース 教育実践開発コース |

(研究科委員会)

第4条 研究科に、基本規則第47条第1項の規定に基づき、愛媛大学大学院教育学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）を置く。

2 研究科委員会については、別に定める。

(教育方法)

第5条 研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

2 研究科において教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(指導教員)

第6条 学生の研究指導のため、指導教員を置く。

2 指導教員は、学生1人について、主指導教員1人及び副指導教員1人とする。

3 主指導教員は、原則として研究科担当の教授をもって充てる。

4 副指導教員は、研究科担当の教授、准教授又は講師をもって充てる。

(入学者の選考)

第7条 入学者の選考方法は、別に定める。

(授業科目及び単位数)

第8条 授業科目及び単位数は、別に定める。

(履修方法)

第9条 学生は、所属する専攻及び他の専攻の授業科目のうちから、指導教員の指導の下に、30単位以上を修得しなければならない。教育実践高度化専攻においては、46単位以上（高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員に係る実践的な能力を培うことを目的として小中学校等その他の関係機関で行う実習に係る10単位以上を含む。）を修得しなければならない。

2 学生は、履修しようとする授業科目を、毎学期の始めに指導教員の指導に基づいて選定し、その授業科目を担当する教員の承諾を得て、研究科長に届け出なければならない。

3 学生は、他の研究科及び学部の授業科目を指導教員の承認を受け、所定の手続を経て、履修することができる。ただし、第1項に規定する単位に算入できる単位は、他の研究科の授業科目に限り2単位以内とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第9条の2 学則第22条の規定に基づき、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、別に定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項の規定により計画的な履修が認められた者の修業年限は、学則第14条第1項に規定する標準修業年限に、1年を加えた年数とする。

3 第1項の規定により計画的な履修が認められた者の在学期間は、学則第14条第1項に規定する標準修業年限の2倍を超えない年数に、1年を加えた年数とする。

(試験)

第10条 試験は、筆記試験、口頭試験、実技試験又は研究報告とし、その授業科目、日時その他必要な事項をあらかじめ公示する。

2 成績判定の評語は、原則として、秀・優・良・可及び不可とし、100点以下90点以上を秀、90点未満80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可及び60点未満を不可とする。可以上を合格、不可を不合格とする。ただし、授業科目によっては、合の評語で表すことができることとし、合を合格とする。

(単位の認定)

第11条 単位修得の認定は、試験により、担当教員が行う。

2 大学院学則第25条又は第25条の2の規定により修得した単位を、第8条第1項の規定による単位に算入する場合の認定は、研究科委員会が行う。

(学位論文)

第12条 学位論文は、指導教員の承認を得て、指定された期日までに、研究科長に提出しなければならない。

2 学位論文の審査、最終試験及び試問に関する事項は、別に定める。

(学位)

第13条 研究科において授与する学位は、修士とし、専攻分野として教育学の名称を付記する。教育実践高度化専攻においては、教職修士（専門職）とする。

(教育職員の免許)

第14条 教育職員の免許状を受けようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 研究科において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科は、別表のとおりとする。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、研究科委員会が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日に研究科に在学する者に係る教育課程、履修方法、修了、学位等については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 障害児教育専攻は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成17年3月31日に同専攻に在学する者が同専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとし、同専攻の学生に係る教育課程、履修方法、修了、学位等については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成17年7月21日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大学院教育学研究科規則は、平成18年度入学者から適用し、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年5月15日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する
- 2 学校教育専攻は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日に同専攻に在学する者が同専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとし、同専攻の学生に係る教育課程、履修方法、修了、学位等については、なお従前の例による。

| | | | |
|-----------|---------------------------|-------------|---|
| 教育実践高度化専攻 | リーダーシップ開発コース 教育実践開発コース | 幼稚園教諭専修免許状 | |
| | | 小学校教諭専修免許状 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教 |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 看護, 家庭, 情報, 農業, 工業, 商業, 水産, 福祉, 商船, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教 |

2 教育実践高度化専攻

(1) 授業課程表

1) リーダーシップ開発コース

| 区 分 | 授 業 科 目 | | 単位数 | 開講学期及び週当たり授業時間数 | | | | 備 考 |
|----------------------|--------------------|---------------------|-----|-----------------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 1年次 | | 2年次 | | |
| | | | | 前学期 | 後学期 | 前学期 | 後学期 | |
| 専攻共通基礎科目 | 教育課程の編成及び実施に関する領域 | 授業研究の開発実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 授業開発の理論と実際 | 2 | 2 | | | | |
| | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 心の教育の理論と実践 | 2 | | 2 | | | |
| | | 授業における学習支援と指導法の事例分析 | 2 | 2 | | | | |
| | 生徒指導及び教育相談に関する領域 | 子どもの問題行動の事例研究 | 2 | 2 | | | | |
| | | 子どもの発達と感情 | 2 | 2 | | | | |
| | | 特別支援教育の理論と実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 生徒指導・進路指導の実践研究 | 2 | 2 | | | | |
| | 学級経営及び学校経営に関する領域 | 子ども理解の心理アプローチ(調査法) | 2 | 2 | | | | |
| | | 学級経営の理論と実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 学校組織のリーダーシップ | 2 | 2 | | | | |
| | | データを活用した学校経営(調査法) | 2 | | 2 | | | |
| | 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 学校改善の実践的研究 | 1 | 2 | | | | 集中 |
| | | 教員の成長と職業倫理 | 2 | 2 | | | | |
| 教師のライフヒストリー省察と資質能力開発 | | 2 | 2 | | | | | |
| 愛媛の教育改革 | | 2 | 2 | | | | | |
| コース別選択科目 | 発展科目 | 教育政策の立案と評価 | 2 | | 2 | | | |
| | | 教員研修プログラム開発演習 | 2 | | 2 | | | |
| | | 信頼を構築する学校危機管理 | 2 | | 2 | | | |
| | | カリキュラムマネジメントと校内研修 | 2 | | 2 | | | |
| | | 人材育成演習 | 2 | | 2 | | | |
| | 課題研究 | 学校改善課題研究1 | 2 | 2 | | | | |
| | | 学校改善課題研究2 | 2 | | 2 | | | |
| | | 学校改善課題研究3 | 4 | | | 4 | | |
| 実習科目 | 異校種実習 | 2 | 2 | | | | | |
| | 小規模校実習 | 2 | 2 | | | | | |
| | 研究指定校実習 | 2 | | 2 | | | | |
| | 地域連携実習1 | 4 | | 4 | | | | |
| | 地域連携実習2 | 4 | | | 4 | | | |
| | 地域連携実習3 | 2 | | | | 2 | | |

2) 教育実践開発コース

| 区 分 | 授 業 科 目 | | 単位数 | 開講学期及び週当たり授業時間数 | | | | 備 考 |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|-----|-----------------|-----|------|-----|-----|
| | | | | 1 年次 | | 2 年次 | | |
| | | | | 前学期 | 後学期 | 前学期 | 後学期 | |
| 専攻共通基礎科目 | 教育課程の編成及び実施に関する領域 | 授業研究の開発実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 授業開発の理論と実際 | 2 | 2 | | | | |
| | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 心の教育の理論と実践 | 2 | | 2 | | | |
| | | 授業における学習支援と指導法の事例分析 | 2 | 2 | | | | |
| | 生徒指導及び教育相談に関する領域 | 子どもの問題行動の事例研究 | 2 | 2 | | | | |
| | | 子どもの発達と感情 | 2 | 2 | | | | |
| | | 特別支援教育の理論と実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 生徒指導・進路指導の実践研究 | 2 | 2 | | | | |
| | 学級経営及び学校経営に関する領域 | 子ども理解の心理アプローチ(調査法) | 2 | 2 | | | | |
| | | 学級経営の理論と実践 | 2 | 2 | | | | |
| | | 学校組織のリーダーシップ | 2 | 2 | | | | |
| | | データを活用した学校経営(調査法) | 2 | | 2 | | | |
| | 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 学校改善の実践的研究 | 1 | 2 | | | | 集中 |
| | | 教員の成長と職業倫理 | 2 | 2 | | | | |
| 教師のライフヒストリー-省察と資質能力開発 | | 2 | 2 | | | | | |
| 愛媛の教育改革 | | 2 | 2 | | | | | |
| コース別選択科目 | 発展科目 | 教材開発演習 | 2 | | 2 | | | |
| | | 教育課題解決のための教育プログラム開発演習 | 2 | | 2 | | | |
| | | 学級経営と生徒指導の事例研究 | 2 | | 2 | | | |
| | | 特別な教育的ニーズへの対応 | 2 | | 2 | | | |
| | | 児童生徒・保護者の教育相談実践 | 2 | | 2 | | | |
| | 課題研究 | 授業改善課題研究1 | 2 | 2 | | | | |
| | | 授業改善課題研究2 | 2 | | 2 | | | |
| 授業改善課題研究3 | | 4 | | | 4 | | | |
| 実習科目 | 異校種実習 | 2 | 2 | | | | | |
| | 小規模校実習 | 2 | 2 | | | | | |
| | 研究指定校実習 | 2 | | 2 | | | | |
| | 地域連携実習1 | 4 | | 4 | | | | |
| | 地域連携実習2 | 4 | | | 4 | | | |
| | 地域連携実習3 | 2 | | | | 2 | | |

(2) 履修案内

1) 履修基準（修了要件）

履修科目及び履修単位は、下表の科目区分にしたがって46単位以上修得しなければならない。

| 科目区分 | | コース名 | リーダーシップ 開発コース | 教育実践開発 コース |
|--------------|--------------------|------|------------------|-----------------------|
| 専攻共通 基礎科目 | 教育課程の編成及び実施に関する領域 | | | 各領域から2単位以上、 合計20単位 |
| | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | | | |
| | 生徒指導及び教育相談に関する領域 | | | |
| | 学級経営及び学校経営に関する領域 | | | |
| | 学校教育と教員の在り方に関する領域 | | | |
| コース別 選択科目 | 発 展 科 目 | 8 | 8 | |
| | 課 題 研 究 | 8 | 8 | |
| 実 習 科 目 | | 10 | 10 | |
| 合 計（単位） | | 46 | 46 | |

（備 考）

- ① 教育実践開発コースの現職教員はコース別選択科目の発展科目において、リーダーシップ開発コースのコース別選択科目を選択することができます。
- ② 実習科目は「地域連携実習1」「地域連携実習2」を必修とします。
- ③ 教育実践高度化専攻の「課題研究」は学校改善または授業改善をテーマとする実践的研究であり、学校現場との連携協力を基盤として、研究者教員と実務家教員の指導の下で行います。
- ④ 他大学教職大学院開設の授業科目を履修した場合は、発展科目の単位として認定します。

2) 実践研究報告書（課題研究）及び学位

本専攻では、大学院修了時に修士論文を課しません。本専攻に2年以上在学し、修学期間中の学修の修了を総合的・最終的に確認するコース指定の課題研究において、「実践研究報告書（課題研究）」の作成とプレゼンテーションを行い、所定の科目を46単位以上修得した者には、教職修士（専門職）の学位を授与します。

3) 履修方法の特例措置

現職教員等に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、現職教員等が高等教育を受ける機会を拡大するための措置を行います。

教育方法の特例措置の実施方法は次のとおりです。

- (1) 修業年限2年のうち、第1年次は在職校等における勤務を離れて大学院での学業に専念し、課程修了に必要な46単位のうち原則として36単位以上を履修します。
- (2) 第2年次は、在職校等に復帰し週1日は在職校において実習を行います。また、課題研究は、原則として大学教員が在職校を訪問し、在職校にて行います。週末又は夏季・冬季休業期間中に大学に集まり、集団での学習を行い単位履修を進めます。

4) 履修手続

• 履修登録

各学期に履修しようとする授業科目を指導教員の指導によって決定し、WEB上（修学支援システム）で、所定の期間に履修登録を行ってください。

• 履修登録確認, 修正

履修登録した授業科目については, 所定の期間に登録確認をし, 必要な場合には修正を行ってください。

なお, 履修登録を行っていない授業科目は, 履修することができません。

5) 履修上の留意事項

- (1) 学生は, 教育学研究科規則及び「1) 履修基準」(P32)に定めるところに基づいて授業科目を履修します。
- (2) 履修科目の変更は原則としてできないので, 履修計画を慎重に検討の上, 履修手続きを行ってください。
- (3) コース修了要件を満たしても, 専修免許状の所要資格を取得したことにならない場合もあるので, 「9) 教育職員免許状の取得」(P34)を参考にして必要な単位を計画的に履修してください。
- (4) 同一の曜日の同一時限に複数の授業科目を履修することはできません。
(重複履修の禁止)

6) 学部授業の履修

学部授業科目の履修を希望する場合は, 以下に従って手続きを行ってください。

なお, 履修する場合は, 「学部授業履修願」又は「他学部授業履修願」を指定の期日までに教育学部チームへ提出してください。

〈履修の手続き・条件〉

- (1) 教育学研究科学生が学部授業科目を履修することができるのは, 本研究科の教育研究を進める上で特に必要であり, かつ, 支障がない場合に限りです。
- (2) 学部授業科目を履修する学生は, 2年間にわたる学部授業履修計画を作成し, 指導教員の承認と学部長の承認を得なければなりません。
- (3) 学部授業科目の履修は, 一年次学生は, 年間5科目10単位, 二年次学生は, 年間8科目16単位を上限とします。ただし, 教育実習等に関連する単位についてはこの限りではありません。なお, 実験や実習等の1単位科目を含む場合は, 上限単位数内であれば, 科目数は問いません。
- (4) 特別な理由が認められる場合, 研究科長が上限を超えて履修することを許可することがあります。

7) 成績判定(評価)

成績判定(評価)は, 学期末(学年末)試験により担当教員が行います。

試験は, 筆記試験, 口頭試験, 実技試験又は研究報告により行います。

成績判定(評価)の標語は, 原則として, 秀, 優, 良, 可及び不可とし, 可以上を合格, 不可を不合格とします。ただし, 授業科目によっては合の評語で表すことができることとし, 合を合格とします。

- 秀 90点以上100点まで
- 優 80点以上90点未満
- 良 70点以上80点未満
- 可 60点以上70点未満
- 不可 60点未満

8) 成績通知

履修成績は、成績通知票により次学期始めまでに通知します。

成績に疑問がある場合、学生は授業担当教員又は教育学部チームに説明を求めることができます。(成績配布後2週間以内)

9) 教育職員免許状の取得

教育職員免許状の取得資格は、「別表2」(P36)のとおりです。教育学研究科で開設する授業科目が教育職員免許法別表第一第三欄に定める専門教育科目のどの免許状の種類の単位に該当するかは、「別表3」(P37～)のとおりです。各自が取得しようとする免許状に照らして必要な単位数を修得してください。

なお、他の専攻専修・コースの授業科目を履修する場合については、その授業科目の該当する専攻専修・コースの表で確認してください。

10) 諸手続等

学生に対する種々の連絡は、掲示により行うので、毎日登下校時に掲示板を見るように習慣づけること。

諸手続は下記の窓口で行うこと。

(1) 授業料関係

- 納付 財務企画課 出納チーム
- 免除願等 学生生活支援課

(2) 各種証明書

- 通学証明書 教育支援課 教育学部チーム

※なお、在学証明書・成績証明書・学生割引証等は教育支援課内「証明書自動発行機」を利用してください。

(3) 身上に関する願・届

- 休学願 教育支援課 教育学部チーム
- 復学願 //
- 退学願 //
- 改氏名・保証書 //
- 記載事項変更届

(4) その他

- 奨学金願書等 学生生活支援課
- 学生教育研究 //
- 災害傷害保険 //

別表2

教育学研究科で取得できる専修免許状の種類及び教科並びに取得資格

| 専攻コース | 区分 | 取得できる専修免許状 | 教科 (領域) | 基礎免許状 (既に取得している ことを必要とする) | 最低必要単位数 | | |
|-------------|----------------|--|--------------------|---------------------------------|------------------|------------------|--|
| | | | | | 教科又は 教職に関するもの | 特別支援 教育に関するもの | |
| 特別支援教育 | 特別支援学校教育 | 特別支援学校教諭専修免許状 | (聴覚障害者) (知的障害者) | 特別支援学校教諭一種免許状 | | 24 | |
| | 特別支援教育コーディネーター | 特別支援学校教諭専修免許状 | (知的障害者) | 特別支援学校教諭一種免許状 | | 24 | |
| 教科教育 | 人文社会科学 | 小学校教諭専修免許状 | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 国語 | 中学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 社会 | 中学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 英語 | 中学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 国語, 書道 | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 地理歴史, 公民 | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 英語 | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | | 幼稚園教諭専修免許状 | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 自然科学 | 小学校教諭専修免許状 | | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 数学 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 理科 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 技術 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 数学 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 理科 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | 生活健康科学 | 幼稚園教諭専修免許状 | | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 小学校教諭専修免許状 | | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 保健体育 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 家庭 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 保健体育 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 高等学校教諭専修免許状 | 家庭 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | 芸術 | 幼稚園教諭専修免許状 | | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 小学校教諭専修免許状 | | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 音楽 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| | | 中学校教諭専修免許状 | 美術 | | 中学校教諭一種免許状 | 24 | |
| 高等学校教諭専修免許状 | | 音楽 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| 高等学校教諭専修免許状 | | 美術, 工芸 | | 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| 学校臨床心理 | 幼稚園教諭専修免許状 | | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 小学校教諭専修免許状 | | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語, 社会, 英語, 数学, 理科, 技術, 保健体育, 家庭, 音楽, 美術 | | 左記の教科に該当する 中学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語, 書道, 地理 歴史, 公民, 英語, 数学, 理科, 保健 体育, 家庭, 音楽, 美術, 工芸, 情報 | | 左記の教科に該当する 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| 教育実践高度化 | 幼稚園教諭専修免許状 | | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 小学校教諭専修免許状 | | | 小学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 職業指導, 英語, ドイツ語, フラン ス語, 宗教 | | 左記の教科に該当する 中学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 看護, 家庭, 情報, 農業, 工業, 商業, 水産, 福祉, 商船, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教 | | 左記の教科に該当する 高等学校教諭一種免許状 | 24 | | |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | | | 幼稚園教諭一種免許状 | 24 | | |

(4) 教育実践高度化専攻

1) リーダーシップ開発コース

| 開設授業科目 | | | | 免許状の種類 | | | | 備考 |
|-----------------------|--------------------|---------------------|-----|--------|-----|------|-----|----|
| 区分 | 分野 | 授業科目の名称 | 単位数 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 幼稚園 | |
| 専攻共通基礎科目 | 教育課程の編成及び実施に関する領域 | 授業研究の開発実践 | 2 | | × | × | | |
| | | 授業開発の理論と実際 | 2 | × | | | × | |
| | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 心の教育の理論と実践 | 2 | × | × | × | × | |
| | | 授業における学習支援と指導法の事例分析 | 2 | × | | | × | |
| | 生徒指導及び教育相談に関する領域 | 子どもの問題行動の事例研究 | 2 | | | | | |
| | | 子どもの発達と感情 | 2 | | | | | |
| | | 特別支援教育の理論と実践 | 2 | | | | | |
| | | 生徒指導・進路指導の実践研究 | 2 | × | | | × | |
| | 学級経営及び学校経営に関する領域 | 子ども理解の心理アプローチ(調査法) | 2 | | | | | |
| | | 学級経営の理論と実践 | 2 | | | | | |
| | | 学校組織のリーダーシップ | 2 | | | | | |
| | | データを活用した学校経営(調査法) | 2 | | | | | |
| | 学校改善の実践的研究 | 学校改善の実践的研究 | 1 | × | × | × | × | |
| | | 教員の成長と職業倫理 | 2 | | | | | |
| 教師のライフヒストリー-省察と資質能力開発 | | 2 | | | | | | |
| 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 愛媛の教育改革 | 2 | | | | | | |
| | コース別選択科目 | 教育政策の立案と評価 | 2 | | | | | |
| | | 教員研修プログラム開発演習 | 2 | | | | | |
| 信頼を構築する学校危機管理 | | 2 | | | | | | |
| カリキュラムマネジメントと校内研修 | | 2 | | | | | | |
| 人材育成演習 | | 2 | | | | | | |
| 課題研究 | 学校改善課題研究1 | 2 | | | | | | |
| | 学校改善課題研究2 | 2 | | | | | | |
| | 学校改善課題研究3 | 4 | | | | | | |
| 実習科目 | 異校種実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 小規模校実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 研究指定校実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 地域連携実習1 | 4 | × | × | × | × | | |
| | 地域連携実習2 | 4 | × | × | × | × | | |
| 地域連携実習3 | 2 | × | × | × | × | | | |

2) 教育実践開発コース

| 開設授業科目 | | | | 免許状の種類 | | | | 備考 |
|----------|--------------------|-----------------------|-----|--------|-----|------|-----|----|
| 区分 | 分野 | 授業科目の名称 | 単位数 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 幼稚園 | |
| 専攻共通基礎科目 | 教育課程の編成及び実施に関する領域 | 授業研究の開発実践 | 2 | | × | × | | |
| | | 授業開発の理論と実際 | 2 | × | | | × | |
| | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 心の教育の理論と実践 | 2 | × | × | × | × | |
| | | 授業における学習支援と指導法の事例分析 | 2 | × | | | × | |
| | 生徒指導及び教育相談に関する領域 | 子どもの問題行動の事例研究 | 2 | | | | | |
| | | 子どもの発達と感情 | 2 | | | | | |
| | | 特別支援教育の理論と実践 | 2 | | | | | |
| | | 生徒指導・進路指導の実践研究 | 2 | × | | | × | |
| | 学級経営及び学校経営に関する領域 | 子ども理解の心理アプローチ(調査法) | 2 | | | | | |
| | | 学級経営の理論と実践 | 2 | | | | | |
| | | 学校組織のリーダーシップ | 2 | | | | | |
| | | データを活用した学校経営(調査法) | 2 | | | | | |
| | 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 学校改善の実践的研究 | 1 | × | × | × | × | |
| | | 教員の成長と職業倫理 | 2 | | | | | |
| | | 教師のライフヒストリー-省察と資質能力開発 | 2 | | | | | |
| 愛媛の教育改革 | | 2 | | | | | | |
| コース別選択科目 | 発展科目 | 教材開発演習 | 2 | | × | × | | |
| | | 教育課題解決のための教育プログラム開発演習 | 2 | | × | × | | |
| | | 学級経営と生徒指導の事例研究 | 2 | × | | | × | |
| | | 特別な教育的ニーズへの対応 | 2 | | | | | |
| | 課題研究 | 児童生徒・保護者の教育相談実践 | 2 | × | | | × | |
| | | 授業改善課題研究1 | 2 | | × | × | | |
| | | 授業改善課題研究2 | 2 | | × | × | | |
| 実習科目 | 授業改善課題研究3 | 4 | | × | × | | | |
| | 異校種実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 小規模校実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 研究指定校実習 | 2 | × | × | × | × | | |
| | 地域連携実習1 | 4 | × | × | × | × | | |
| | 地域連携実習2 | 4 | × | × | × | × | | |
| 地域連携実習3 | 2 | × | × | × | × | | | |